

平成29年度日本NGO連携無償資金協力署名式典



平成29年6月29日（木）、平成29年度日本NGO連携無償資金協力に係る署名式典を当館多目的ホールにて執り行いました。同署名式では、堀之内秀久特命全権大使と特定非営利活動法人 難民を助ける会（AAR Japan）の園田知子プノンペン事務所駐在代表が「カンダール州における、障がい児のためのインクルーシブ教育

推進事業（第3期）」（供与限度額279,038米ドル）の贈与契約書に署名を行いました。

難民を助ける会は、1992年からカンボジア王国において職業訓練や車椅子の製造・配付など様々な障がい者支援活動を展開してきました。2013年からはカンダール州の小学校において、障がいの有無にかかわらず子どもたちが一緒に学ぶ「インクルーシブ教育」の支援活動を行っています。本年に実施する事業では、学校内のバリアフリー整備や、教員訓練、啓発活動などを実施する予定で、これによりカンダール州クサイカンダール郡の4つの小学校を中心に障がい児にとっての教育環境が改善され、障がい児の就学率の向上に大きく貢献するものと期待されています。

式典では、堀之内大使がスピーチを行い、今回の支援が対象地域の住民に直接裨益し、カンボジアと日本の更なる友好促進につながることを願うと述べました。続いて難民を助ける会の園田駐在代表が、日本国民及び政府への感謝の意を表明するとともに、着実に事業を推進していくことを約束しました。

